

3 年生の実践

- 1 主題名 みんなの場所をきれいに（4 —（1）規則尊重・公德心）
（資料名「あめ玉」学研教育みらい）

2 主題設定の理由

（1）価値観

本主題は、学習指導要領の内容「4. 主として集団や社会とのかかわりに関すること」の（1）であり、第3学年及び第4学年では、「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。」ことを受けて設定されたものである。これは、公共マナーやきまりについて考えさせ、公德心を大切にすることを育てる内容項目である。

社会の一員として生活するためには、公共マナーやきまりなどの約束事を守らなければならない。これらは、人がそれぞれの立場を思いやる心から生まれて初めて、本当の意味で身に付いたものになり、社会生活の中で有効に働いてくるものと考えられる。

この時期の児童は、気の合う仲間の間できまりをつくり、自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。公共マナーやきまりについては、守らなければならないと知りながらも、なかなか実行できなかつたり、「誰かに言われたから」「決まりだから」という意識で行動したりする年頃である。このような発達段階の今この時期に、社会の一員として生活するための公共マナーやきまりについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切である。さらに公共物や公共の場所との関わりの中で、みんなで使う物を大切にすることにとどまらず、社会生活の中で守るべき道徳としての公德心を大切にすることを広げていく必要があると考えた。

（2）児童観（男子12名 女子20名 計32名）

児童は明るく素直である。学校内でのルールや約束は守ろうとする児童が多い。しかし、雨の日などに廊下を走り回ったり、廊下や階段にゴミが落ちていても、教師が言えば拾うことはできるが、拾わずにそのまま放つてあることも何度もあったりした。社会科の学習ではスーパーマーケットに見学に行ったり旅行等では公共の施設を利用したりしてきた。事前学習では、公共マナーやきまりを守つたり、公共物や公共施設を大切にすることについて指導をし、考えさせてきた。

道徳性検査（HUMAN）の内容項目「公德心・規則尊重」の回答の結果は次の通りであった。Ⅰ約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。87%（全国67%）、Ⅱ公德心は十分ではないが、約束や社会のきまりは守る。8%（全国14%）、Ⅲ公德心も不十分であり、約束や社会のきまりも守れないことが多い。5%（全国12%）、Ⅳ公德心に欠け約束や社会のきまりもほとんど守れない。0%（全国7%）この結果から「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。」という道徳的価値の傾向についての回答の割合は、全国より上回り、望ましい方向にあることがわかった。

そこで、本時では、約束や社会のきまりを守ることの大切さに気付かせるとともに、自らの行動を見つめ直し、公德心を大切にすることも考えさせていきたい。

（3）資料観

主人公の「わたし」は、電車に乗る前に駅のホームでチューインガムを踏んでしまった。まわりを見ると、駅の中はゴミばかりで、何ともやり場のない不愉快な気持ちになる。

そんなとき、電車の中で妹がこぼしたあめ玉を、小学校三年生ぐらいの姉が一生懸命に拾う姿が目に入る。そして、ちり紙に包み、電車を降りた後紙くずかごに捨てた。その行為を見た「わたし」は、女の子たちが残してくれた「心のおくりもの」によって、不愉快な気持ちが消え、清々しい気持ちになっていた。この、電車の中で人に迷惑をかけまいと思う少女の素直な心に触れることで変化した、「わたし」の心情を捉えることで、公共のマナーを守る大切さに自ら気付いていけるようにしたい。

3 指導方針

<事前>

- 校外学習の事前指導では、見学時に施設内を走ったり、商品や展示物に触れたりしない、トイレはきれいに使用する等人の迷惑にならないように行動することをおさえた。
- 校外学習の昼食時に、お弁当や菓子類のゴミは持ち帰ること、自分が出したゴミでなくても拾うことを指導し、公共のマナーを守ることをおさえた。
- 児童が持ってきた落書きがしてあった図書室の本をクラス全体に知らせ、みんなのものを大切に扱っていかなくてはいけないことを指導した。

<本時>

【課題をつかむ】

- 校外学習での経験を想起させ、本時への動機付けを図る。
- 公共施設を使用したり、見学したりする時は、マナーや決まりなどの約束事を守らなければならないことに触れ、本時の資料につなげていく。

【価値を追求する】

- 場面ごとの「わたし」の心の変化をイメージできるように、児童一人一人にハートメーターを用い、全員の児童が自分の考えも表せるようにする。
- 板書の中に示した「ふゆかいな気持ち」から「すがすがしい気分」になった主人公の気持ちの変化が視覚的に分かるように、挿絵を右下から左上に階段状に配置する。
- ねらいとする価値に迫るために、「わたし」がもらったような気がしたすてきな心の贈り物とは、姉のどんな心かを考えさせることを中心発問とする。
- 「わたし」がもらったような気がした、すてきな心の贈り物とは、姉のどんな心なのか様々な考えを出し合うようにする。

【価値を内面的に自覚する】

- 公共マナーやきまりが守れない理由は、その時々状況によって様々であるので、児童の経験から、率直に意見を出し合えることを大切にする。
- 話合いから、人に迷惑をかけないこと、公德心という視点から自分を振り返らせる。
- 教師の説話では、ねらいに関わる児童の身近な出来事についてふれ、公德心について考えるきっかけにする。
- 学校生活の中だけでなく、社会生活の中でも公德心を大切にしようとする心情について考えさせる。

<事後>

- トイレや水道など、みんなで使う場所をいつもきれいにできるように、支援していく。
- 親子クリーンアップ作戦では、地域の一員として自分の住んでいる所をきれいにしておくことを体験させていく。

4 本時の学習

(1) ねらい みんなで使うものや場所を大切にしようとする態度を育てる。

(2) 準備 教師：読み物資料 場面絵 ハートメーター ワークシート

校外学習時の写真3枚

児童：筆記用具 ハートメーター

(3) 展開

過程	学習活動（主な発問）	予想される児童の反応	時間	指導上の留意点
課題をつかむ	1. 校外学習での経験を想起し、みんなで使う場所をどのように使ったか発表する。 (お昼を食べた後は、どうしましたか。見学する時に気を付けたことは、どんなことでしょ	・展示物、触らなかった。 ・市場の中は、走らなかった。 ・お弁当やお菓子のゴミは家に持ち帰った。	10分	・校外学習での写真を3枚提示し、体験を話し合う。 ・公共のマナーに関心をもたせ、資料への導入をする。

<p>価値を追求する</p>	<p>う。)</p> <p>2. 資料「あめ玉」を読んで話し合う。</p> <p>(1) チューインガムが靴の底についてしまったとき、「わたし」はどんな気持ちになったか考える。</p> <p>(靴の底にチューインガムがついてしまったとき「わたし」はどんな気持ちになったのでしょうか。)</p> <p>(2) お姉さんがこぼれたあめ玉を拾ったとき、「わたし」はどんな気持ちだったか考える。</p> <p>(お姉さんがこぼれたあめ玉を拾ったとき、「わたし」はどんな気持ちになりましたか。)</p> <p>(2) 「わたし」がもらったような気がした、すてきな心のおくりものとは、お姉さんのどんな心か考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「わたし」がもらったような気がした、すてきな心のおくりものとは、お姉さんのどんな心でしょうか。</p> <p>(中心発問)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・チューインガムが取れない。 ・不愉快だ。ちゃんとごみ箱に捨ててほしいな。 ・子どもなのに偉いな。 ・きちんと片付けが出来て、さすがおねえちゃんだ。 ・電車をきれいにしようとする心。 ・みんなで使う場所を汚さないようにしたい心。 ・妹にやさしくしようとする心。 ・マナーを守ろうとする心。 	<p>25分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガムを踏んだことだけでなく、公共の場所の汚なさに不愉快な思いをしている「わたし」の気持ちについて考えられるようにする。 ・場面ごとの人物の心情を児童の言葉で表現させるとともに、児童一人一人が「ハートメーター」を用いることにより、場面ごとの「わたし」の心の変化をイメージできるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>嫌な気持ち<青> すがすがしい気持ち <ピンク></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の場を汚さないようにしたい姉の行動が、「わたし」の気持ちをすがすがしい気分にしたことを捉えさせる。
<p>価値を内面的に自覚する</p>	<p>3. これまでの自分を振り返る。</p> <p>(今までにみんなが使う物や場所をどのように利用してきましたか。)</p> <p>4. 教師が経験した「心のおくりもの」についての話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の本がぐちゃぐちゃになっていたけれど、そのままにしておいた。 ・トイレのスリッパが揃っていなかったので、きちんと揃えた。 ・自分もみんなのことを考えるようにしよう。 	<p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の経験を2つに分けて板書することで、人の気持ちをすがすがしくしたり、不愉快にしたりする行為について対比して考えられるようにさせる。 ・学校生活だけでなく、社会生活の中でも公德心を大切にしていこうと考えさせる。 ・周りの人の迷惑をかけないようにし、次に使う人のことを考えて行動することの大切さに気付かせたい。

5 資料分析図

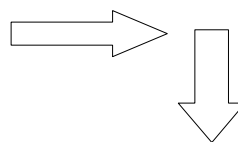
ね ら い：みんなで使うものや場所を大切にしようとする態度を育てる。

授業の意図：自分自身の公共のマナーやきまりを守ろうとする考えを深めるために、公共の場を汚さないようにしたい姉の行動を取り上げ、みんなで使うものや場所を大切にしようとするわけ（価値理解）や公德心をもって生活することの大切さについても考えさせる。

中心発問：「わたし」がもらったような気がしたすてきな心のおくりものとは、お姉さんのどんな心か。

意 図：公共のマナーや決まりといった約束事を守らなければならない場面を、自分との関わりで十分に考えさせる。

価値理解 他者理解



発問：今までみんなが使う物や場所をどのように利用してきたか。

意図：公德心という視点から自分の生活を振り返らせ

自己理解

発問：お姉さんがこぼれたあめ玉を拾ったとき、「わたし」はどんな気持ちだったか。

意図：電車の中であめ玉を拾った姉の行為が、不愉快だった「わたし」の気持ちを変化させていくことを自分との関わりで考えさせる。

人間理解 他者理解

発問：靴の底にチューインガムがついてしまった「わたし」はどんな気持ちだったか。

意図：不愉快な思いをしている「わたし」の気持ちを自分との関わりで考えさせる。

価値理解 他者理解

6 授業記録（T：教師 C：児童）

T：「わたし」がもらったような気がした、すてきな心のおくりものとは、お姉さんのどんな心でしょうか。

C1：お姉さんの優しくて勇気のある心。

C2：お姉さんが、きちんとごみ箱にちり紙やお菓子の袋とかをすてたので、そのことが、「わたし」がお姉さんからもらったプレゼント。

（書き出せない児童がいたため、教師が、お姉さんのどんなことが、「わたし」へのおくりものになったのかという発問に言い換えた。）

C3：うれしい心のおくりものをもらった気がした。

T：うれしいってどんなこと？

C4：お姉さんが、あめ玉をちり紙につつんでごみ箱に捨てたこと。

C5：（電車に乗っている）お客さんに迷惑だから、お姉さんがちゃんとあめ玉を片付けたこと。

C6：妹があめ玉をこぼしたのに、お姉さんが拾ってくれてとてもえらかったこと。



ハートメーターを使って
心情を表している。



青いところは、「わたし」
どんな気持ちを表している？

「わたし」をさすがすがし
い気持ちにさせた心のお
くりものとは・・・



お姉さんのやさしくて、
ゆう気のある心。

7 板書



8 成果と課題 (○成果 ●課題)

【課題をつかむ】

○校外学習での写真を提示することで、公共のマナーに関心をもたせることができた。

【価値を追求する】

- 主人公「わたし」の心情を考える時に、ハートメーターを用いることで心の変化をイメージしやすかった。
- 児童が示したハートメーターを板書に貼ることで、一つの考えだけでなく、様々な捉え方があることに気付かせた。
- 発表する前に、まず、自分のハートメーターをクラス全体に見せることで、自分の考えが伝わりやすかった。また、見ている児童も、なぜ、そのように表していたかを聞くことができていた。
- 主人公「わたし」が挿絵に現れていないので、児童がイメージしにくかった。主人公「わたし」、お姉さん、妹の3人の役割演技を取り入れると状況がより把握できたのではないか。
- ハートメーターを一人一人用いていたが、二人で一つ用いると、考えを伝え合ったり、話し合ったりできて、より主人公の心情を捉えることができたのではないか。
- 「わたし」がもらったような心のおくりものとは何かについての発表の中で、ある児童が、「私はあめ玉を拾わないのに・・・。」とあったが、なぜ、拾わないかを追求してもよかった。
- 妹の落としたあめ玉だからお姉さんは拾ったのか、それは、妹のためかそれとも周りの人のためか、ゆさぶりをかけ児童に考えさせてもよかったのではないか。

【価値を内面に自覚する】

- 児童は、どのようにみんなで使う物や場所を利用して自分の生活を振り返ってワークシートに書くことができた。
- 教師の説話では、図書室の本の落書きについての話だったので、児童の生活に結び付いていて児童がよく聞いていた。